

タイトル	創刊にあたって
著者	内田, 昌利
引用	北海学園大学経営論集, 1(1): i
発行日	2003-06-30

創刊にあたって

大学をとりまく環境が厳しくなるなかで、経営学部は2003（平成15）年4月に誕生し、ここに新たに『北海学園大学経営論集』が発刊されるはこびとなりました。

経営学部は、1966（昭和41）年に設置された経済学部経営学科を母体にして改組し、カリキュラムと教員組織を一新して専任教員42名から成る経営学科と経営情報学科の2学科を擁する新学部として産声をあげたわけです。この経営学部誕生の経緯は全国的にもめずらしいもので、先ず経営学研究科（経営学専攻修士課程）が既設経済学部経営学科を基礎に2000（平成12）年4月に、続いて博士（後期）課程が2002（同14）年4月に開設され、学部新設の実力が教員組織面・カリキュラム面で実証された後にいよいよ設置申請することを許され、その意味で満を持して新経営学部の開設をみたわけです。

この間の道程は決して平坦なものではありませんでしたが、大きな時代の流れのなかで関係教職員の熱い願いと学長をはじめ全学の強い支持、理事長をはじめとする法人の信頼と指導を得て、漸く念願の目的に到達することができた、というのが実感で、それだけに大切にこの学部を育てていく努力を怠るまい、きめの細かい学習支援と学習環境の整備にいつそう努めていかなければならない、との決意を新たにしているところです。先日初めての父母懇談会を開きましたが、アンケートの答えの中で、自分の子供が楽しそうに勉学に励んでいるのを見て、本学部に入學して本当に良かったと思っている、との好意的な感想を多数見つけて、本学部の先生方の熱心な教育活動とそれを支援する職員の皆さんの丁寧な対応が報われる思いがしたものです。

そうした熱心な教育を生み出す源泉は、先生方個々人の研究活動とその成果にあります。経営学部は個人の研究は言うまでもなく共同研究も積極的に推進していきたいと考えています。今回結果は不首尾に終わりましたが、COEの申請に挑戦したのも、COL（「特色ある大学教育支援プログラム」）に名乗りをあげようとしているのもすべてこうした理由からです。

こうした教育活動の基盤をなす研究活動の成果発表の場として、このたび学部紀要『北海学園大学経営論集』が、経営学研究科院生の研究発表の場である『研究論集』（本年度第2号発刊予定）に続いて、論集委員の長い時間と努力の末創刊されるはこびとなったことは真に欣快の至りです。学部の活力の源泉は、個々の教員の研究と教育への情熱にあります。今後それを証明するような研究論文が陸続と発表されることを期待していただければと願っております。

末永くご高覧いただき、忌憚のないご批判・ご指導を賜りますよう衷心よりお願いする次第です。

清々しい初夏の風満ちる6月吉日

経営学会会長 内田昌利